

平成25年度当初予算 施策 取組概要

251 南部地域の活性化

25101 市町のフレキシブルな連携

(地域連携部)

25102 課題解決に向けた県の取組

(地域連携部)

(主担当部局：地域連携部)

県民の皆さんとめざす姿

南部地域において、働く場の確保が図られ、定住が促進されているとともに、生まれ育った地域に住み続けたいというあらゆる世代の地域住民の思いがかなう地域社会が創られています。

平成27年度末での到達目標

南部地域の課題解決や活性化に向け、市町が連携した取組が進むとともに、県、市町、大学等の連携した中間支援機能が構築され、県の取組が市町や地域のニーズに応じて効率的・効果的に進められています。

県民指標				
目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値
南部地域の市町における生産年齢人口の減少率	—	15.6%	15.6%	15.6%
	15.4%	—	—	—
目標項目の説明				
【目標項目】 南部地域の市町における生産年齢人口（15歳から64歳）の平成17年から平成27年までの減少率				

活動指標					
基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	27年度 目標値
25101 市町のフレキシブルな連携	南部地域において市町の連携した取組数（累計）	2取組	—	4取組	10取組
25102 課題解決に向けた県の取組	集落を維持するモデル的な取組を行っている地域数（累計）	3地域	—	6地域	10地域

進捗状況（現状と課題）

- 南部地域活性化基金（以下「基金」という。）を活用した事業化や集落支援モデル構築事業の協議等を行うため、5月に「南部地域活性化推進協議会（以下「協議会」という。）」を13市町、有識者の参画を得て設置し、市町との連携体制を構築しました。協議会では、基金を活用した具体的な取組等の検討を進める場として、4つの部会（集落支援・空き家活用、移住・交流、観光・交流、起業支援）を設置し、現在、市町と協議を重ねているところです。

- ・ 協議会において、8月に基金を活用した事業計画案2件(①「紀南農業・農村担い手対策事業(熊野市、御浜町、紀宝町)」、②「漁業の担い手育成事業(尾鷲市、志摩市)」)を認定するとともに、11月には、平成25年度における事業計画案(幹線道路を活用した誘客促進事業、企業立地セミナー開催事業、地域資源を活用した雇用創出事業等)の協議・認定を行いました。
- ・ 複数市町の連携による若者の働く場の確保や定住の促進に資する事業について、基金をさらに活用して具体化を図る必要があります。
- ・ 南部地域では、働く場の確保が大きな課題であることから、地域資源を活用した取組を進める事業者と連携して、雇用の創出を図っています。
- ・ 南部地域への移住を促進するため、三大都市圏における「移住フェア」を開催することとし、市町と取組を進めています。
- ・ 南部地域では、集落機能が弱くなっている地域が増えていることから、モデル地域を選定し、集落機能を維持するための取組を市町・大学と連携して進めています。平成24年度は尾鷲市早田および近隣集落と志摩市渡鹿野島において取組を進めるとともに、南伊勢町、紀北町、御浜町において、平成25年度に取り組むモデル地域の選定(各町1地域)を進めています。

平成25年度の取組方向

地域連携部

- ・ 基金を活用した事業については、協議会の各部会等において、市町等との協議・連携を深め、より多くの事業化を図っていきます。
- ・ 事業者の新商品の開発や販路拡大への支援など、地域の直接的な雇用の創出に取り組んでいきます。
- ・ 「移住フェア」を開催し、地域外からの移住・定住に向けた情報発信事業を展開するとともに、移住者を迎え入れるための体制整備を市町とともに進めます。
- ・ 集落機能を維持する取組については、平成24年度のモデル地域において、引き続き取組を進めるとともに、新たな地域においても集落を維持するための取組を市町や大学と連携して支援します。

主な事業

地域連携部

- (新) 幹線道路を活用した誘客促進事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 12,903千円
事業概要：複数市町が連携して取り組む幹線道路(サニーロード、R42号)を活用した誘客促進の取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。
- (新) 移住交流推進事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 2,000千円
事業概要：「空き家調査」や「田舎暮らし体験」など、移住交流の推進に向けた複数市町の取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。

- (新) 企業立地セミナー開催事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】
 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
 当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 2, 275千円
 事業概要：南部地域における企業誘致を促進するため、複数市町が連携して取り組む、都市部での企業立地セミナーについて、南部地域活性化基金を活用して支援します。

- (新) 子どもの地域学習推進事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】
 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
 当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 2, 184千円
 事業概要：地域を担う人材を育成するため、複数の市町が連携して取り組む、地域への愛着心を育む子どもの教育に対し、南部地域活性化基金を活用して支援します。

- (新) 婚活支援事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】
 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
 当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 2, 856千円
 事業概要：若者世代の流出や少子化が著しい南部地域において、市町等が行う婚活支援の取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。

- 南部地域活性化推進事業（総合調整事業）【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】
 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
 当初予算額：(24) 9, 000千円 → (25) 7, 354千円
 事業概要：南部地域の働く場の確保や定住の促進に向け、地域住民の主体的な取組や複数の市町が連携した取組を支援するとともに、三大都市圏において「移住フェア」を開催するなど、移住・定住促進に向けた情報発信等を行います。

- 集落支援モデルの構築事業【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】
 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
 当初予算額：(24) 5, 000千円 → (25) 5, 438千円
 事業概要：集落機能を維持するため、市町・大学と連携して、モデル地域において集落が抱える課題に対する地域住民の主体的な取組を支援します。

- (新) 地域資源を活用した雇用創出事業【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】
 (第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
 当初予算額：(24) ー 千円 → (25) 5, 250千円
 事業概要：地域資源を活用して新しい事業展開や事業拡大を行う事業者に対し、南部地域活性化基金を活用して、新たな雇用の創出を支援します。